

〈自然を見つけるには〉

朝日新聞に「ドリトル先生 ガラパゴスを救う」という記事が連載されている。その中に、次のような一説があった。「自然は絶えず動いたり、変化したりしていますからね。だから観察者は、まず自分の動きをとめなくてはなりません。」と。普段は農作業の合間にチョコッと畑の自然に目を向けているが、今朝は散歩途中で畑に寄り、動かずにじっと草むらを観察してみた。すると、見える見える。わずか1m四方に小さな生き物がたくさん息づいていた。じっとその場に座ってさえいれば次々に生き物が見つかる。日本のファールと呼ばれる昆虫画家の熊田千佳慕さんは何時間も動かずにじっと虫を観察し、絵を描いた。そこまではできずとも5分10分でもいい、虫の時間に合わせてみようと思う。

